

心不全の病状経過に合わせた
実践的なハート・ニュートリションへのアプローチ



管理栄養士に求められる 「心不全」の栄養サポート

心不全の低栄養はなぜ起きる？
さまざまな要因の根拠を理解し
正しい付加、制限を行う

宮澤 靖氏

東京医科大学病院 栄養管理科 科長
美作大学 大学院 臨床教授
日本栄養経営実践協会 代表理事

アメリカ静脈・経腸栄養学会認定栄養サポート栄養士 (NSD)、日本静脈経腸栄養学会 (JSPEN) 認定NST専門栄養療法士。臨床における栄養部門の役割拡大を考え、米国エモリー大学医学部にてNSTを学ぶ。日本では長野市民病院、鈴鹿中央病院、近森病院など数多くの病院のNSTの立ち上げと運営に携わってきたNST・栄養管理の達人。2019年1月より現職。

東京	19年1月27日 (日)	10:00~17:00	日総研 研修室 (廣瀬お茶の水ビル)
名古屋	19年2月24日 (日)	10:00~17:00	名古屋国際会議場
仙台	19年3月2日 (土)	10:00~17:00	ショーケー本館ビル

参加料 税込	一般 19,000円	会員 16,000円
	※会員は日総研雑誌 (定期刊行物・会員制) の年ぎめ購読者です。 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数14人。	

プログラム

- まず心不全の病状経過を理解しよう
医師がどんな視点で考えているか、初期症状の出現から治療 (薬物療法)、身体機能の低下、難治性症状出現、終末期の対応までを流れに沿って解説
- 病状経過の各場面における適切・迅速なハート・ニュートリションの実践
 - ① 初期症状の出現と治療の開始
ポイント 原因疾患を予防するために
 - ② 薬物療法と経過の観察
ポイント 増悪、再発予防の視点
 - ③ 身体機能や治療効果の低下
ポイント 水分管理と低栄養予防
 - ④ 難治性症状の出現と身体機能の制限
ポイント 栄養状態の維持・改善
 - ⑤ 手術後
ポイント 術後の周術期栄養と水分・血糖管理
 - ⑥ 終末期
ポイント 食事提供の視点と輸液
- 実践的に考える心不全の栄養サポート
 - 心不全とCKDの時にどうする？
 - 心不全治療薬との関連を考慮した栄養サポート

このセミナーの詳細はホームページで案内中!

日総研 14748

検索

Eメールで専門業務のニーズに応える
「今、学べる情報」をお届け。《無料》

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、毎週Eメールマガジンをお送りしています。



登録はこちら ▶ www.nissoken.com/mm

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書 管理栄養士に求められる 臨機応変な「心不全」の 栄養サポート[14748]	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所 TEL() - 〒 -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要	
	ふりがな				
	氏名 (受取 確認者)				
	生年月日	西暦	年	月	日
	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください				
	お客様コード		役職・部署		
			勤務先名		
ご連絡をお送りします。メールアドレス					

- ↓参加地区に✓印を
- [2] 東京 1/27
- [3] 名古屋 2/24
- [4] 仙台 3/2

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研雑誌 (定期刊行物・会員制) の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル
※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy